

石山・芸術の森地域 芸術の森部会 ニュース

これまで2つの連合会、4つの小学校を一体とした「石山・芸術の森地区検討委員会」として検討してきましたが、より議論を深めるために、今回からは「部会制」を導入し、石山部会と芸術の森部会に分かれて検討することとなりました。検討委員会ニュースについても、各部会ごとに発行していきます。

第1回芸術の森部会について

7月15日(水)午後6時から、芸術の森地区会館(芸術の森地区まちづくりセンター)で第1回芸術の森部会を開催し、継続して統合校の場所などについての検討を行いました。

常盤小学校と石山東小学校の概要

今年度の常盤小学校と石山東小学校の概要は下記のとおりです。

学校名	常盤小学校		石山東小学校		
開校年次	大正5(1916)年		昭和61(1986)年		
児童数・学級数	平成26年5月1日時点	平成27年5月1日時点	平成26年5月1日時点	平成27年5月1日時点	
	1年	71名 / 3学級	40名 / 2学級	13名 / 1学級	18名 / 1学級
	2年	47名 / 2学級	70名 / 2学級	11名 / 1学級	13名 / 1学級
	3年	44名 / 2学級	49名 / 2学級	25名 / 1学級	11名 / 1学級
	4年	55名 / 2学級	47名 / 2学級	14名 / 1学級	25名 / 1学級
	5年	48名 / 2学級	55名 / 2学級	26名 / 1学級	16名 / 1学級
	6年	50名 / 2学級	49名 / 2学級	27名 / 1学級	25名 / 1学級
	計	315名 / 13学級	310名 / 12学級	116名 / 6学級	108名 / 6学級
特別支援学級	情緒:6名/1学級 知的:6名/1学級	情緒:4名/1学級 知的:4名/1学級	-	-	
教職員数	24名	22名	14名	14名	
建物面積	5,827㎡ (校舎5,026㎡、屋内運動場801㎡)		3,547㎡ (校舎2,678㎡、屋内運動場869㎡)		
建物建築年度	校舎:昭和63(1988)年度 屋内運動場:昭和57(1982)年度		校舎:昭和60(1985)年度 屋内運動場:昭和60(1985)年度		
校地面積	16,444㎡		16,473㎡		

◆両校の推計について

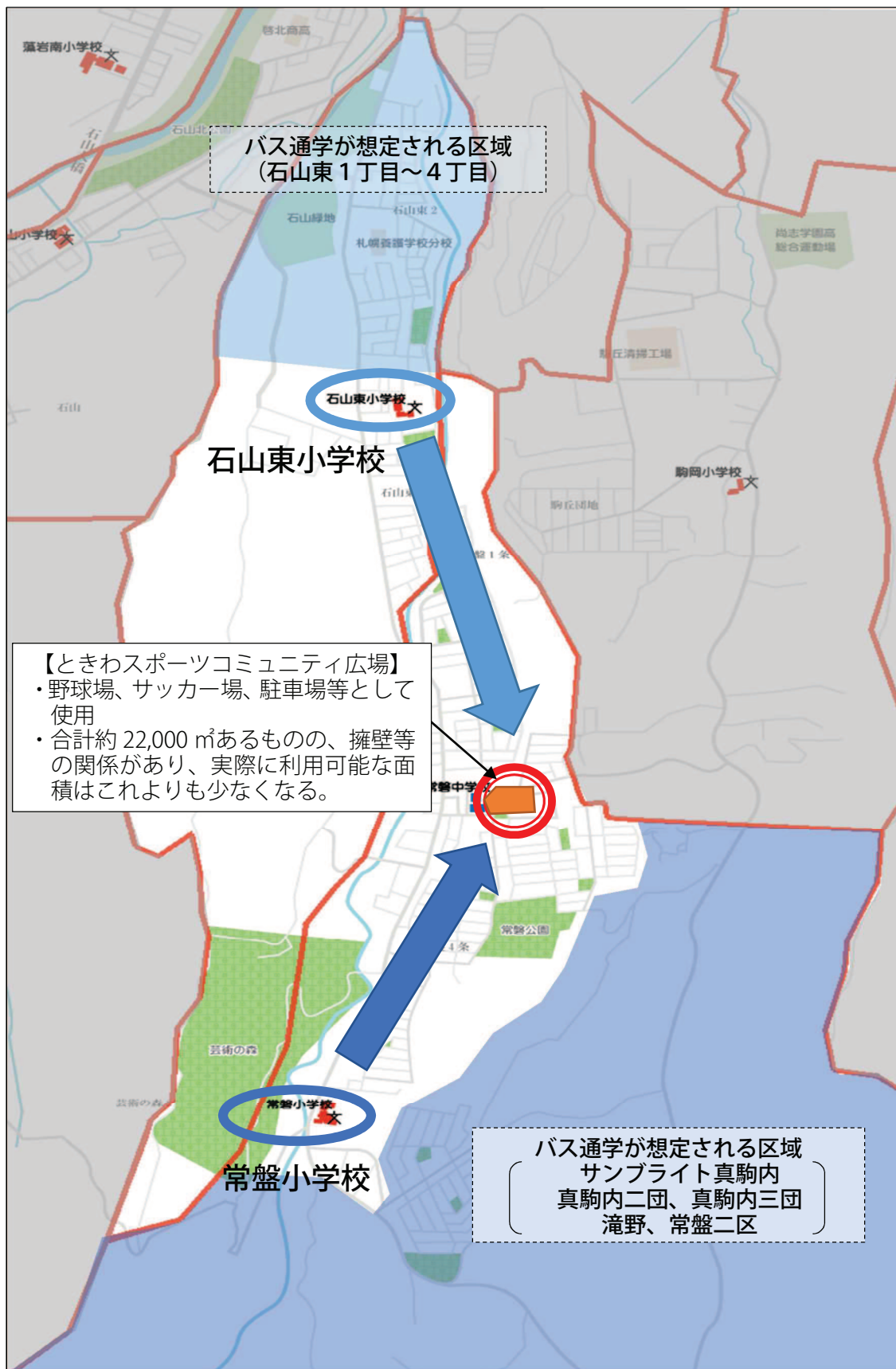
児童数:名 学級数:学級	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
常盤小	315	13	310	12	318	12	315	11	338	11
石山東小	116	6	108	6	103	6	106	6	96	6

- 常盤小学校は、平成29年度から11学級になる(1学級の学年が発生する)可能性があります。
- 石山東小学校は、平成30年度に児童数100名以下となり、教員数が減る可能性があります。

常盤中学校付近に 統合校を新設する 案について

昨年度の検討で複数の委員から提言のあった、常盤中学校付近（ときわスポーツコミュニティ広場）に統合校を新設する案（以下、新設案）について、事務局が検討した内容も踏まえて説明がありました。

◆イメージ



◆新設案の概要

<統合校の校舎について>

- 常盤中学校向かいの「ときわスポーツコミュニティ広場」に統合校校舎を新設

[事務局補足説明]

当初想定していた、野球場、サッカー場に加え、隣の駐車場等も活用し、敷地（約 22,000 m²）を確保する想定です。

<統合時期について>

- 予算化の時期に応じて変動
- 最短でも統合校の開校は平成 32 年 4 月となる見込み

<バス通学区域（通学距離が 2 km を超える区域）について>

- 石山東小学校区のうち「石山東 1～4 丁目」（対象児童約 70 名）
- 常盤小学校区のうち「サブライム真駒内」「真駒内二団」「真駒内三団」「滝野」「常盤二区」（対象児童約 40 名）

[事務局補足説明]

前回の検討委員会ニュース（第 4 号）で、本案のバス通学児童数を約 70 名と記載していましたが、正しくは約 110 名ですので訂正します。なお、現在、常盤橋付近から常盤小学校にバス通学をしている約 40 名ほどは、バス通学の対象から外れます。

<今後検討すべき事項>

- 統合校の校名、通学方法の詳細
- 中学校との連携や、小中一貫校化の可否
- 現在の 2 小学校の跡活用 等

◆課題の整理

- 常盤小学校、石山東小学校ともに、校舎が比較的新しいこともあり、新設の予算化までには年数がかかる可能性がある。
- 仮に予算化できても、設計や工事で校舎完成までに 4 年程度かかることが見込まれる。
- 結果として公共施設が増えることになるため、既存の 2 小学校の跡活用については売却も含めた検討が必要。
- 現在利用されているサッカー場、野球場は利用できなくなる。
- 傾斜地であり、国道から若干の上り坂がある。

（これらを踏まえたうえで、来年度の予算化を目指す場合には）
本年 9 月を目途に一定の方向性を決める必要がある。

委員から寄せられた意見など

第1回芸術の森部会では、委員から以下のようなご質問、ご意見がありました。

◆質問

- 一定の方向性とは具体的にどういうことか。また、9月を越えてしまった場合にはどうなるのか。

(事務局回答)

統合校を設置する予算を要求した後で、「やっぱり統合は反対」にはできませんので、事前に地域の皆様に「中学校付近に新設するのであれば統合やむなし」とのご理解をいただく必要があると考えています。

また、9月までに方向性が出なければ、予算要求自体が1年先送りされますが、予算化までに年数がかかることも想定されますので、もし新設案を目指すのであれば、なるべく早く要求していきたいと考えています。

◆意見

<統合に関する考え方について>

- 1クラス10数人という規模で、単独で貸切バスを利用しようとすると、一人あたりの費用負担が過大となるため、校外学習等は他校と合同で実施せざるを得ないといった学校運営上の課題がある。
- 現在の学校は「子どもの人間関係」を重要視しており、幼稚園や保育園とも連携し意見交換するなど、昔の学校とは変わってきている。
- クラス替えができない場合、子ども同士の間関係の配慮が困難になるなど、小規模校に魅力を感じる方がいることはわかるが、難しい面もあることは知っていただきたい。
- 小規模でも運動会や学習発表会などの行事は可能だが、本来の行事のねらいが達成できているのか疑問に思う。

<通学について>

- 実際に通学してみないとわからないのかもしれないが、やはりバス通学には不安がある。

(事務局補足説明)

市内で約千人の児童がバス通学していますが、大きな問題等は起こっていません。バス通学が増えたとしても支障が生じないようにバス会社などへの働きかけを行っていききたいと考えています。

<小学校を新設する案について>

- 新設に経費がかかるのはわかるが、仮に常盤小学校や石山東小学校の校舎を使っても 20~30 年後には建て替えが必要。石山陸橋からサンブライト真駒内、空沼までという細長い地形や、それによる通学の負担等を考えれば、中央に新設する以外の方法はないのではないか。
- 常盤中学校に隣接して新しい小学校を新設する案であれば、地域の方にも一定程度、理解が得られるのではないかと。
- 学校がなくなることによって地域の魅力の低下につながることを危惧していると思うが、統合をきっかけに、これからの若い世代にとって魅力ある学校をつくっていくことを考えるべきと感じる。
- 市立大学の敷地内に学校を設置するのは難しいかもしれないが、例えば、中学校付近に学校を新設して、小中一貫校などを検討すべきではないか。そういった検討が魅力ある地域づくりにつながり、新しい人を呼び込むことにもつながるのではないかと考えている。
- 常盤小学校や石山東小学校という選択肢もあるが、新設に最短でも 4 年かかるなら、一旦はこの 4 年後を目指して 9 月までに一定の方向性の結論付けを目指すべきではないか。
- 9 月までに一定の結論が出て予算化されたとしても、統合には最短で 4 年かかるが、その間もクラス替えできない状態が続いてしまうので、今後はそういったことも考える必要がある。

<その他>

- 芸術の森地区は、学校が避難場所に指定され地形的にも南北にバランスが取れているが、統合すると災害時の避難に課題が生じないか。
- 避難所については、常盤小学校に隣接する常盤一区会館や石山東平和会館などが地域避難所に指定されているほか、必要に応じて追加指定することである程度解消できるのではないかと。
- 統合によって校区が広くなることを考えれば、学校の駐車場確保という課題もあるのではないかと。

(事務局補足説明)

学校敷地は子どもたちのために最大限活用し、余分な駐車場等は作らないのが原則ですが、統合に伴い校区が広がることから、そういった点も検討は行います。

今後の検討の
進め方について

このような検討から、芸術の森部会では、「常盤中学校付近への統合校新設に向け、地域や保護者の方々のご意見を聞いたうえで、次回の芸術の森部会で方向性を検討する」こととしました。

【新設案についてご意見をお寄せください】

次回の部会（9月中旬頃を予定）で、皆さんから寄せられたご意見についても検討をしたいと考えていますので、ご意見のある方は**9月8日（火）まで**に下記「事務局」までお寄せください。

委員の構成について （順不同・敬称略）

芸術の森部会では、芸術の森地区連合会から4名、常盤小学校と石山東小学校のPTAから各2名に学校長（2名）と有識者（2名）を加え、以下の全12名の部会として発足しています。

鈴木 久夫	芸術の森地区連合会	会 長（部会長）
齋藤 公博	同 上	副会長
大野 勝	同 上	企画部長
正源 初恵	同 上	芸術の森まちづくりセンター次長
熊谷 恵信	常盤小学校PTA	会 長
中野 吉朗	同 上	副会長
船田 幸治	石山東小学校PTA	会 長
宮田 亜由里	同 上	会 計
藤島 健志	常盤小学校	校 長
田中 修	石山東小学校	校 長
大室 道夫	幌西小学校	校 長（統合経験校長）
松井 博和	道銀地域総合研究所	顧 問（司 会）

第2回の芸術の森部会について

第2回の芸術の森部会は、皆さんのご意見等を踏まえ、常盤中学校付近への統合校新設について重点的に検討することとし、9月中旬頃の開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せ下さい ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837

E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載予定です。
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>